



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 アルプス物流

上場取引所 東

コード番号 9055 URL <https://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 臼居 賢

問合せ先責任者 (役職名) 理事 管理副担当 兼 経理部長 (氏名) 亀田 智文 TEL 045-532-1982

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	25,491	△1.9	1,071	9.6	971	12.6	572	13.7
2019年3月期第1四半期	25,975	1.1	977	△20.2	863	△27.4	503	△24.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 165百万円 (△25.2%) 2019年3月期第1四半期 221百万円 (△61.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.22	16.18
2019年3月期第1四半期	14.27	14.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	76,418	50,169	59.0	1,274.97
2019年3月期	75,604	50,521	59.5	1,274.53

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 45,052百万円 2019年3月期 45,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	9.00	-	9.00	18.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	10.00	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	52,000	△0.6	2,000	△0.3	1,900	△9.0	1,100	△7.5	31.14
通期	106,000	1.0	4,700	△0.5	4,600	△4.8	2,650	6.0	75.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規一社 （社名） 、除外一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	35,474,400株	2019年3月期	35,474,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	138,556株	2019年3月期	158,856株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	35,318,927株	2019年3月期1Q	35,309,046株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結子会社の決算日の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月～6月）の世界経済は、米中貿易摩擦の激化に伴い各地域で減速感が強まりました。米国は堅調な消費に支えられ底堅く推移しましたが、欧州は成長率が低迷、中国では貿易摩擦の長期化により輸出が減少し成長が鈍化しました。国内経済は安定基調を保ちましたが、個人消費や公共投資がやや軟調となり、輸出も減少していることから景気に足踏み感が出ております。

このような事業環境において、当社は当事業年度より3カ年の第4次中期経営計画をスタートしました。中期基本方針を「進化する『最適物流』をより多くのお客様に」と定め、初年度となる当期は、次の戦略・施策を推進し、グローバルにビジネスの拡大を図ってまいります。

①G T B（Get The Business / 市場と商品の拡大）：HUB拠点の整備とネットワークの充実。車載向け事業体制の確立。

②G T P（Get The Profit / 間・直の生産性向上）：自動化とTIEの導入による改善の進化。戦略投資の拡大と確実な刈り取り。

③G T C（Get The Confidence / 選ばれる会社）：桁違い品質の実現。CSR体制の強化と活動の充実。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高25,491百万円（前年同期比 1.9%減）、営業利益1,071百万円（同 9.6%増）、経常利益は971百万円（同 12.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は572百万円（同 13.7%増）となりました。

<セグメントの概況>

①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界では、スマートフォン、自動車、産業用機器などの需要の減速により荷動きが低調に推移し、中国を含むアジア向けを中心に輸出が減少しました。一方、自動車業界では自動運転や通信など次世代技術の進展により、電子部品の今後の需要拡大が見込まれております。

このような需要動向のもとで、当社グループでは、HUB拠点の整備とネットワークの充実による取扱貨物量の拡大を図りました。更に、これまで拡充した拠点の充実を図り、安定稼働、倉庫オペレーションの生産性向上に取り組みました。

また、新規に車載関連物流の強化の一つの施策として、(株)ロジコム社と合弁会社を4月に設立、同社の持つ車載部品関連の技術・経験と、当社の海外展開ノウハウを合わせ、海外での車載関連ビジネスの拡大を目指します。また、欧州では東欧展開の足掛かりとしてハンガリーに事務所を開設するなどの施策を展開しました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、主に海外において、外販向けを中心に売上高が増加し、利益面でも拠点の安定稼働に伴い増益となりました。

当セグメントの売上高は13,049百万円（前年同期比 0.9%増）、営業利益は748百万円（同 7.4%増）となりました。

②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品に関連する包装資材・成形材料・電子デバイスの販売を行っています。調達と物流を一元化した電子デバイスの販売ビジネス、物流改善を意識した包装資材の提案営業を進めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、海外顧客の需要減と現地調達の進行に伴い売上高が減少しましたが、原価率の改善により増益となりました。

当セグメントの売上高は6,183百万円（前年同期比 12.1%減）、営業利益は136百万円（同 9.5%増）となりました。

③消費物流事業

消費物流分野では、小売企業の宅配サービスや通信販売ビジネスの成長に伴って需要が拡大している一方、ドライバーを始めとする人材確保・育成が、業界全体の課題となっています。

このような事業環境において、当社グループで消費物流を担う(株)流通サービスは、宅配や商品センターの川上にある企業間物流の取り込み、メディカル・化粧品などの商品センター業務の拡大、生協宅配ビジネスの拡大に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、生協向け及び化粧品通販向けの拡販により増収増益を確保することができました。

当セグメントの売上高は6,258百万円（前年同期比 4.1%増）、営業利益は186百万円（同 19.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

前連結会計年度末と比較した当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

資産については、流動資産が、法人税・賞与・配当金の支払や設備投資による現金及び預金の減少などにより、539百万円減少しました。固定資産は、倉庫リース資産の計上などにより1,353百万円増加しました。これにより資産合計は、前連結会計年度末比814百万円増の76,418百万円となりました。

負債については、流動負債がリース債務の計上などによって478百万円増加しました。また、固定負債も同様にリース債務の計上などにより688百万円増加し、負債合計は、前連結会計年度末比1,166百万円増の26,249百万円となりました。

純資産については、利益の確保に対し、当社の配当金支払、子会社における外部株主への配当金支払、当第1四半期末の円高進行による為替換算調整勘定の減少などによって、前連結会計年度末比352百万円減の50,169百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末比0.5ポイント低下の59.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日付「2019年3月期決算短信」で開示した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,979	14,922
受取手形及び営業未収金	16,541	16,273
商品	1,694	1,737
その他	2,715	3,457
貸倒引当金	△21	△21
流動資産合計	36,909	36,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,261	10,968
土地	16,765	16,764
その他(純額)	4,603	6,184
有形固定資産合計	32,629	33,917
無形固定資産		
その他	3,012	3,082
無形固定資産合計	3,012	3,082
投資その他の資産		
投資有価証券	293	271
その他	2,760	2,777
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,052	3,048
固定資産合計	38,694	40,048
資産合計	75,604	76,418
負債の部		
流動負債		
営業未払金	10,598	10,503
短期借入金	2,107	2,056
未払法人税等	860	357
賞与引当金	1,640	952
役員賞与引当金	—	12
その他	3,763	5,565
流動負債合計	18,969	19,448
固定負債		
長期借入金	900	900
役員退職慰労引当金	58	56
退職給付に係る負債	2,240	2,281
その他	2,914	3,562
固定負債合計	6,112	6,800
負債合計	25,082	26,249

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	1,930	1,944
利益剰余金	40,548	40,828
自己株式	△110	△96
株主資本合計	44,717	45,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	42
為替換算調整勘定	395	136
退職給付に係る調整累計額	△158	△151
その他の包括利益累計額合計	293	26
新株予約権	66	53
非支配株主持分	5,444	5,064
純資産合計	50,521	50,169
負債純資産合計	75,604	76,418

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	25,975	25,491
売上原価	23,327	22,780
売上総利益	2,647	2,711
販売費及び一般管理費	1,670	1,639
営業利益	977	1,071
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	5	2
その他	21	39
営業外収益合計	36	55
営業外費用		
支払利息	36	64
為替差損	43	23
支払手数料	53	33
その他	17	33
営業外費用合計	151	155
経常利益	863	971
特別利益		
固定資産売却益	1	3
受取保険金	7	0
その他	—	0
特別利益合計	8	4
特別損失		
固定資産除売却損	4	1
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	867	974
法人税、住民税及び事業税	328	318
法人税等調整額	△28	△25
法人税等合計	300	293
四半期純利益	566	681
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	503	572
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	△14
為替換算調整勘定	△441	△507
退職給付に係る調整額	4	7
その他の包括利益合計	△345	△515
四半期包括利益	221	165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235	203
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の決算日の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であったALPS LOGISTICS HONG KONG LTD.、ALPS LOGISTICS (S) PTE. LTD.、ALPS NAIGAI LOGISTICS (MALAYSIA) SDN. BHD.、TIANJIN ALPS TEDA LOGISTICS CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (GUANGDONG) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (USA), INC.、DALIAN ALPS TEDA LOGISTICS CO., LTD.、SHANGHAI ALPS LOGISTICS CO., LTD.、ALPS LOGISTICS MEXICO, S. A. DE C. V.、ALPS LOGISTICS (THAILAND) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS TAIWAN CO., LTD.、ALPS LOGISTICS KOREA CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (CHONGQING) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS EUROPE GmbH、ALPS LOGISTICS VIETNAM CO., LTD.、ALPS LOGISTICS MEXICO EXPRESS, S. A. DE C. V.、TEDA ALPS LOGISTICS SHANGHAI CO., LTD.は同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,929	7,035	6,009	25,975	—	25,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,929	7,035	6,009	25,975	—	25,975
セグメント利益	696	124	156	977	—	977

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,049	6,183	6,258	25,491	—	25,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,049	6,183	6,258	25,491	—	25,491
セグメント利益	748	136	186	1,071	—	1,071

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。